

投稿



新町公民館の子どもたちが開聞岳に登頂

～投稿者：新町公民館

11月24日、新町公民館の小・中・高校生や地域の住民など25人が、開聞岳に登りました。これは、青壮年などをつくる「雨風会（うかぜかい）」が、毎年行っているふれあい行事の一環で行ったものです。当日は快晴に恵まれ、汗を流しながらも気持ちよく登っていました。5合目あたりから岩場が増えてきましたが、より足取りも軽くなり、疲れも見せず頂上に登りつきました。頂上では、自分たちで持ってきたおにぎりなどをおいしく食べました。下山してからも、子どもたちは草スキーを楽しむなど、元気にびっくり。これからも子どもたちが喜ぶイベントを行っていきたくです。

投稿



PTA参戦！22人必死のタスキレース

～投稿者：桜山中学校PTA

「合言葉はエンジョイPTA！」
12月7日に開催された桜山中学校校内駅伝・ロードレース大会に、今回もPTA駅伝チームが参戦。ガチンコ勝負のつもりが、だんだん遠くなる子どもたちの背中。車社会のツケか？単に老化現象か？それでも必死に足を運び、勇敢なチャレンジャー22名で、12区間、約12kmを走り切りました。
大差をつけられた最終ランナーのPTA会長の周りには、伴走するたくさんの子もたちと大きな声援。子どもと保護者がまさか一つになった瞬間でした。みんなが感動し、エンジョイした冬の熱い一日となりました。



市営住宅から暴力団排除へ警察署とスクラム
～市と枕崎警察署が協定を結ぶ

昨年4月に東京都の都営住宅で発生した暴力団員による立てこもり発砲事件を契機として、公営住宅における暴力団排除の要請が全国的に高まっています。本市でも12月28日、市営住宅から暴力団員を排除するため、入居申込み時の情報提供などに関する協定を枕崎警察署と締結しました。
この日、市役所で瀬戸口市長と井口署長が協定書に調印。この協定により、入居予定者とその同居者が暴力団員かどうかの照会や、入居していることが判明した場合の情報提供、退去させる際の支援が可能になります。
本市の市営住宅ではこれまで、暴力団に関する苦情やトラブルは発生していません。



快適な道路環境を保ち、交通安全に努めよう
～市街地の道路パトロールを実施

年末年始の交通事故防止運動の一環として、昨年12月20日、南薩地域振興局、警察署、商工会議所などの関係者が、市街地の幹線国道・市道の道路パトロールを実施し、道路の不法占用や看板などの設置状況について調査・指導を行うとともに、併せて道路の清掃活動を行いました。
道路パトロールは、毎年この時期に行っていますが、今年は交通の妨げになるような看板などはあまり目につかなかった反面、タバコの吸殻が多くなりました。道路はみんなが利用するもの。道路上（側溝・歩道を含む）にのぼり旗や商品などを置いたり、垣根などが道路にはみ出していると、交通の妨げになり大変危険です。適正な管理を行い交通安全に努めましょう。

動脈硬化から発症する「心臓の病気」



▼一般的には「冠動脈（心臓に栄養を送る血管）疾患」と言われ、「狭心症」「心筋梗塞」などがあります。アメリカでは死亡原因の第一位であり、男性のみならず女性も高齢になつてくると発症しやすくなります。発症の原因は動脈硬化が多いのですが、まれに先天異常、川崎病などのウイルス感染症などが原因となることもあります。また、冠動脈疾患の発症に影響を及ぼす危険因子には、とうとうもならないものがあります。そのような危険因子には加齢、性別が男性、早期に冠動脈疾患を起した家族歴（近親者で50～55歳未満でこの病気を発症した人がいる）などがあります。

▼「狭心症」は冠動脈が狭窄した場合に自覚されます。このようなときに症状が現れるか？ですが、心臓が一瞬懸命動くとき（運動・食事・興奮など）です。

▼以上のような自覚のある方、また生活習慣病（危険因子）を持っている方は、早めに「相談ください」。

院長 佐々木 健

狭窄の程度が大きいほど十分な血液が送れないためです。症状としては「胸骨下（胸の中央）の圧迫や痛み」として感じられる、といいますが、肩から腕にかけて、背中、のどやあごへ広がることもあります。多くの人は「胸の不快感」「重圧感」と感じられるようです。高齢者では関節炎と間違われたり、食後の場合は胃炎や胃潰瘍と間違われることもあります。一般的には数分以上症状が続くことはありません。しかし、ゆっくりしているとき（安静時）や夜間就寝中にも「狭心症」が起こることがあります。これは、「けれども」が原因と考えられます。診断は、症状が典型的な場合は簡単です。無症状時に心電図や診察は意味がありません。危険因子（高血圧や高脂血症など）も参考になります。疑わしい場合は、運動負荷試験をはじめとした諸検査を予定していきます。

南溟館 イベント情報

TEL 72-9998 月曜日休館

「親子のための臨床美術ワークショップ」参加者募集

『臨床美術』とは独自のアートカリキュラムにそって創作活動をすることにより、脳機能の活性を促すことを目的として開発されたものです。第2回目となる今回も、臨床美術士を講師とした「描くこと」「造ること」が楽しくなるワークショップを開催します。

期日 2月17日（日）
午前10時～午後0時30分
会場 南溟館（創作室）
参加料 500円（材料代）
講師 立石真奈美氏（臨床美術士）
参加対象 3歳～高校生とその保護者
募集定員 20名（先着順です。早めにお申し込みを）
後援 枕崎市教育委員会
申込み・問合せ 立石真奈美氏
TEL 090-5731-8873

第7回枕崎高校美術部・書道部合同展

枕崎高校の美術部、書道部の生徒さんによる作品展を開催します。昨年鹿児島市で開催された鹿児島県高校美術展、県高校書道展で入賞入選した作品を中心に展示いたしますので、ぜひご観覧ください。

会期 2月26日（火）
3月9日（日）
会場 南溟館（市民ギャラリー）
観覧料 無料

クレイクラフト展「MBC学園枕崎校」愛を奏でる「ありがとつ」の心をそえて

各方面で活躍しているクレイクラフト作家・前田和子氏を講師として、MBC学園枕崎校を会場にクレイクラフト教室を開催しています。今回その生徒さんによる作品展を開催します。焼かない粘土で創作した花や花器など多彩な作品をご観覧ください。

会期 2月13日（水）～24日（日）
会場 南溟館（市民ギャラリー）
観覧料 無料